

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	多文化共生推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	8	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	企画財政課			
施策	144世界と結びつく国際化の促進	担当課室長	小笠原 直樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	センター実施計画に基づき、センター自主事業やホストファミリー交流会を開催して、センターや姉妹都市の認知度向上、利用者増加につなげていく。	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	次年度に向けて、センターの運営方法及び通訳ボランティアの活用方法の見直しを図る。
②①に基づく取り組み結果	姉妹都市や外国文化に係る自主事業を開催した他、姉妹都市周知期間を設けたことにより、センター及び姉妹都市の認知度向上につなげた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内の外国人及び日本人	意図(対象をどうするのか)	多文化共生社会の実現
②事務事業の概要	多文化共生社会の実現のために設置した多文化共生推進センター(愛称:かまがやワールドプラザ)を拠点として、学習機会の提供、情報発信、相談等を実施するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	外国人住民が増加傾向にある中で、今後も外国人の方が暮らしやすいまちづくりにつながる施策や相談受け入れ態勢を実施していく必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	①プラザ通信の発行(年2回)、②センター自主事業(4回)、③ボランティア養成講座(2回)、④ホストファミリー交流会(1回)、⑤スタッフ会議(13回)						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	市内外国人数	1,364	1,488	1,645	人	統計かまがや
	ii	多文化共生推進連絡協議会団体数	4	4	4	団体	業務取得
	iii	多文化共生推進センター来所者数	2,827	2,383	2,494	人	業務取得
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	5,089	4,881	金額(千円)	内容	13,764		
	国支出金(千円)			907	プロジェクトマネージャー報酬		
	県支出金(千円)			2,732	非常勤職員賃金		
	市債その他(千円)			876	通訳ボランティア謝礼		
	一般財源(千円)	5,089	4,881			13,764	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	多文化共生推進センターに対する市民の認知度が低く、利用者が少ない。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	多文化共生に係る拠点施設として位置付けられているセンターのPR及び運営方法の見直しを図るため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	平成30年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H29からの繰越
		H29⇒30繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由			流用・充当		
	令和元年度への繰越額(単位:千円)				